

災害時の避難誘導

障害者を支援する時のポイント

みんなで助かるために！
皆さんにお手伝いして
もらいたいことがあります



肢体障害者を 支援する時

1

- ①希望を聞きながら支援を行いましょ。
- ②杖等の使用者は、ゆっくり歩けるよう段差の少ない道を誘導しましょ。
- ③車いす使用者は、必ず声をかけてから支援し、急な発進や停止等はないようにしましょ。

内部障害者を 支援する時

2

- ①本人又はヘルプカード等により、配慮すべきことなどを確認しましょ。
- ②環境、食事、トイレ等、健常者とは異なる配慮が必要な方もいるので、個別の対応が必要であることを前提に支援しましょ。

視覚障害者を 支援する時

3

- ①どのように誘導すればよいか、本人に確認しましょ。
- ②支援者の肩や肘などにつかまってもらい、支援者が半歩前を歩きましょ。
- ③どこを歩いているのか、周囲の危険箇所などを伝えながら誘導しましょ。
- ④盲導犬には、さわらないでください。

聴覚障害者を 支援する時

4

- ①音声の情報が入らないため、的確な判断や避難行動へ結びつけることが難しいです。相手の顔を見ながら、筆談や身振りなどにより、わかりやすい表現を使って情報を伝えましょ。
- ②補聴器をしている人に大きな声で話しかけると逆に聞きとりにくいこともあります。普通の声で、はっきり言葉を区切って話しましょ。

知的障害者を 支援する時

5

- ①身近に介護者がいないか確認しましょ。
- ②やさしく落ち着いた声で、「具体的に」「ゆっくりと」話しましょ。
- ③肯定的な表現で伝えましょ。
(例：走っちゃダメ→ゆっくり歩こう)
- ④物や行動にこだわっていたり、一見「不審」と思われる行動も、自分を落ち着かせようとその人なりに対処しているので、無理に行動を止めるのではなく、見守ることも必要です。

精神障害者を 支援する時

6

- ①大きな声や叱咤激励のような指示は、しかられているように感じ、不安にさせる可能性があるため、優しく声をかけましょ。
- ②不安により動揺が激しい人がいても落ち着いて対応しましょ。
- ③妄想や幻覚の訴えがある場合は、強く否定せず、相づちをうつ程度にしましょ。

問合せ先

福生市福祉保健部
障害福祉課

☎ 042-551-1742